

渡米から約半年が経ち、UIUC(University of Illinois Urbana-Champaign)工学部の今学期の講義も残すところ後数週間となった。今月は Thanksgiving ではと呼ばれる休暇があった。今回は講義や Thanksgiving 等について報告する。

### 天候

だんだん寒さが厳しくなっていており、月末には雪も降った。Champaign は空気が乾燥しており、その上風も強いので、実際の気温以上に寒く感じる。学校周辺の移動には自転車を用いているが、雪が降ると乗れなくなってしまうだろう。現在住んでいる Sherman Hall は Engineer Hall や Mechanical Engineer Building、Mechanical Engineering Laboratory といった工学部の建物から少し離れたところに位置するので、雪が降った後の通学のことを考えると、気温も氷点下 20℃位になるそうなので少し心配である。

### 講義

どの科目も後残すところ 2 週間ほどで、最終課題や Final Exam に向けて忙しくなっている。PHYCS111 もだんだん内容が難しくなっていており、Final Exam に向けてしっかり復習する必要がある。ME393 の方も残された時間が少なくなっていており、時間に追われる日々が続いている。デザインがほぼ決まり、材料もあらかじめ揃ってきたので、そろそろ製作に取り掛かる段階である。同じようなことを本学の夢考房でも行っていたが、こちらでは勝手が違うので、部品一つ注文するだけで予想以上に時間がかかってしまった。こちらで使っている CAD の使い方も必要なことは一通り覚え、ある程度単独で作業できるようになったので、パートナーの足を引っ張るようなことはないと思う。今学期中にどこまで到達できるかはまだなんともいえないが、来学期もこの科目プロジェクトの参加は続けていきたいと思う。もっともそのためには教授の了承が必要になるので、教授にも相談しなければならない。

### Thanksgiving

11 月末に Thanksgiving と呼ばれる国民的休暇が訪れた。詳しくは知らないが、1620 年に初めて北米に住み着いたイギリスの入植者が、インディアンの助けもあって、飢え死にせず最初の一年を生き延びたことを感謝するために開かれた祝宴が起源らしい。従って農作物の収穫を神に感謝する日なのである。UIUC では 11 月 22 日から 11 月 30 日の 9 日間が休みとなった。日本の夏における盆休みのようなものなのか、この休暇中の間は、ほとんどの学生たちは実家に帰る。そのため Thanksgiving の間はキャンパスの周りには人がほとんどいなく、寂しさを感じたくらいだった。私は Thanksgiving 前半の間は Champaign に残り、後半の 28 日～30 日の間には Chicago に行くことにした。休みの前半はたまっていた ME393 の作業に当てることにした。

28 日から 30 日の間は蔭山洋介君と広島工業大学からの留学生 2 人と一緒に Chicago に滞在したが、その間は以前 IFG (International student Fellowship Group) で知り合った Charles というアジア系アメリカ人の友人の自宅に滞在させてもらった。IFG はアジア系の留学生のグループで週 1 回の頻度で集会を行っている。メンバーの多くはキリスト教徒で、集会では韓国人神父が聖書を傍らに説教を行う。以前この集会に参加したとき「あなたは神にどれくらい飢えていますか」というテーマでディスカッションをし、韓国人キリスト教徒の人との価値観の違いを強く感じたことがあって勉強になった。IFG の人たちは皆親切で、Charles も宿泊の件に関して快く了承してくれた。ただ、事前の旅行計画をしっかりと立てなかったことと、予定外の出来事のせいで彼には多大な迷惑をかけてしまったことが心苦しい。

28 日に Grey Hound という高速バスに乗って Chicago に向かった。この日は郊外で買い物したのだが、どこの店も多くの人で賑わっていた。Thanksgiving day は 27 日なので、28 日は皆が店に殺到する。Thanksgiving の翌日というのは、1 年間を通してもっとも店が賑わう日らしい。この日は朝 6 時から昼にかけての特売セールが様々な店でよく行われているみたいだが、残念ながらそれに行くことは出来なかった。Chicago 郊外では Mitsuwa という名前のスーパーマーケットに行った。ここにはスーパーマーケットのほかに書店などもあり、商品の大半は日本の物である。驚いたのが、レジで会計を済ますときに、日本語で「28 ドル 18 セントになります。」と言われたときで、大変な違和感に襲われた。29 日は Chicago の Michigan Avenue の商店街で買い物をした。

30 日は日曜日だったので、Charles と一緒に教会に行った。私はキリスト教の小学校に通っていたので、日本でときどき教会に行ったことはあったが、アメリカでは初めての経験だった。内容は神父さんのお話を聞いて歌を歌うということで、日本の教会とそう大差ないと感じた。ただ、IFG での集会でもそうだったが、歌を歌う際にギターを用いることが私にとって少し意外だった。以前日本で訪れたことのある教会ではオルガンを用いて賛美歌を歌っていたので、新鮮に感じた。この違いは教会の教派の違いによるものだと思う。

以上が今回の Chicago 旅行の内容だが、先に述べたように当初の計画通りに運ばなかったことが多々あったので、もう 1 回は Chicago に行きたいと思っている。

### 来学期の履修科目

来学期の履修申請期間が始まった。現在のところ履修する予定の科目は以下のとおりである。

- ・ESL114 (Introduction to Academic Writing for Undergraduate Students)
- ・ME170 (Computer-Aided Design)
- ・ME393 (Special Problem)

#### ESL114 (Introduction to Academic Writing for Undergraduate Students)

この科目は現在履修している ESL113 の後に続く科目である。今学期はじめに受けた EPT (English Placement Test)の結果により必修となっている科目である。内容は科目名どおりで、Academic Writing について学習するものである。

#### ME170 (Computer-Aided Design)

この科目は CAD (Computer-Aided Design)に関する科目である。本来はこの科目を今学期に履修する予定であったが、履修不可ということで履修できなかったため、今学期こそ履修しようと考えている。しかし、来学期に開講されるにもかかわらず、U of I Direct (University of Illinois Direct と呼ばれるネットでの履修申請システム)で履修登録が出来なかった。これは一般の学生とは Student Status が違うのが理由かも知れない。とにかく担当教授に相談し、なんとか履修できるように努力するつもりである。

#### ME393 (Special Problem)

これは、今学期に履修している FSAE のプロジェクトのための科目と同じである。この科目についても履修の可否に関してはわからないのであるが、教授に相談して今後も FSAE に参加できるようにしたいと考えている。

この他にあと一つ履修する必要があるが、それはまだ決まっていない。なるべく早く決めてしまうつもりである。しかし、ME170 と ME393 の履修は担当教授との相談次第なので、最終的にはまったく違った科目をとることになるかも知れない。

### その他

当初の予定では Thanksgiving 前までに運転免許を取得するつもりだったが、自動車を持っている友人と私の都合がうまく合わず、結局見送りとなった。Winter Break の前までには取得しておきたいと思っている。

とにかく、今学期も残すところ後わずかなので、気を引き締めて頑張っていくつもりである。

以上